

■2016Civl総会議事録

◆日時

2016年2月18日～21日

◆場所

Lausanne, Swiss

◆議事録作成

牟田園

◆議事録

○OHG Committee Meeting

・Cat1で使えるGPSの認定

GPS高度と気圧高度の両方の高度情報が取得できることが条件

FSでの高度判定は次にリリースされるバージョンから、気圧高度/GPS高度/補正高度(気圧+GPS)の選択式になる
認定されるGPSのリストは近日中に公開される

・クラス5のCat1参加条件

クラス5の機体に習熟していることを条件に追加する

-Cat2かつ参加人数が30人以上の大会にクラス5の機体で参加していること

・ライブトラッキングの遅延時間

競技の公平性の観点から、公開されるライブトラックの情報は十分な遅延時間を設けるべき
遅延の時間は

・複数回ゲートの場合:スタートゲートの時間+5分

・それ以外の場合:15分

オーガナイザーは安全性の理由からリアルタイムに情報を取得できることが望ましい
ただし、ライブトラッキングが必須となるのはCat1のみである

・今後の予定

-2016 クラス1ヨーロッパ選手権&クラス5世界選手権@マケドニア

-2017 クラス1世界選手権@ブラジリア(Brazilia)

-2017 クラス2世界選手権@フランス(Serres)

-2018 クラス1ヨーロッパ選手権&クラス5世界選手権@スペイン(Ager)

-2019 クラス1世界選手権@イタリア(Friuli Venezia Giulia)

○Software Meeting

・新しい集計ソフトウェアの開発

-担当者(Jorg)がFlytecに異動して十分なメンテの時間がとれるかわからない

-Flytecに開発、運用を外部移管する

-コードが複雑になっていてメンテが難しいので新しいソフトウェアをスクラッチから開発する

-最終的にはWebアプリケーションにしたい(ローカルバージョンも残す方向で)

・年間のWPRS(World Point Ranking System)ランキングを作る

-既存の3年間のランキングとは別に新設する

・距離の測定

-GPSの多くは"WGS84"を使っているが、FSCompは"FS Sphere"で計算している

→ビッグシリンダーの場合はズレが出る可能性がある

→2016年度のヨーロッパ選手権ではFAI Sphereを使う

-"WGS84"と"FAI Sphere"のどちらに統一するかは未定

○Plenary meeting

<Proposals Bureau CIVL Finances>

- Cat2の申請料をエントリー費の1.5人分に値上げする
- Cat1の申請料を値上げする
旧: 3.2Eur/pilot&day
新: 募集人数に応じて大会単位で固定 (ex. 121 to 150 → 5,100Eur)

<Sec7 common>

- Sec7の構成が複雑になっているので見直す
→クロスカントリー(ハング&パラ)がSec7Aとなる
- 女子世界選手権でもdiplomaが授与されることをSec7に明記する
- Cat2の成立条件は2タスクから1タスクに変更
- 6日連続で競技した場合はレストデイを必須にする

<Sec7 Cross Country>

- Cat1ではライブトラッキングをHGでも必須にする
- GPSのインターバルは5秒以内とすること
- Jump the Gunのペナルティーは“3秒ごとに1点”から“1秒ごとに2点”へ変更する
- Cat1ではScreening Committee(選手認定委員会)を新設する
→選手、チームリーダー、Civlから一人ずつ選出する

○Appendix

- Plenary meeting documents

<http://www.fai.org/civl-documents>

- Sec7改定案

S7Common

http://www.fai.org/downloads/civl/CIVL_2016_Agenda_Ax25

S7XC

http://www.fai.org/downloads/civl/CIVL_2016_Agenda_Ax25a

- WPRS

http://civlranks.fai.org/?a=326&ladder_id=1&